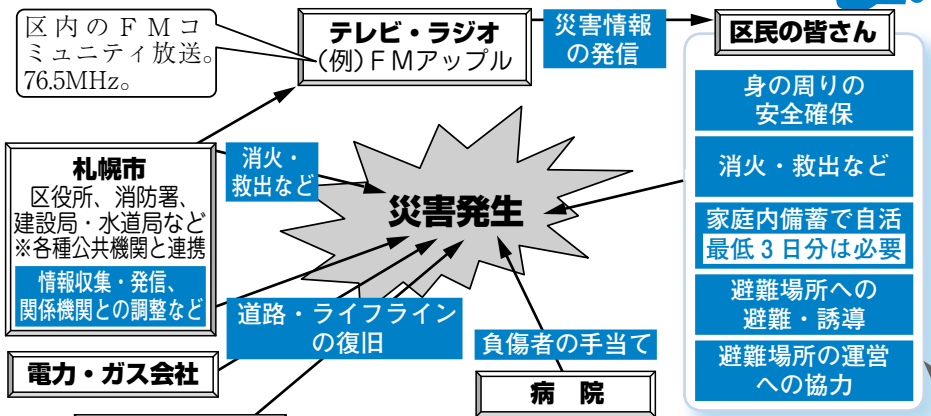


あなたも当事者！

地域の安全・安心はみんなで守る。

地域の安全・安心を確保するため、地域・企業・行政が連携して取り組んでいます。災害・犯罪・事故への備えはいくらあっても十分ということはありません。やはり一人一人の日ごろからの心掛けが重要です。今回は「防災」、「防犯」、「交通安全」について、自分ができることは何かを考えてみましょう。

災害時の主な関係機関の役割



防災

災害が起これたら

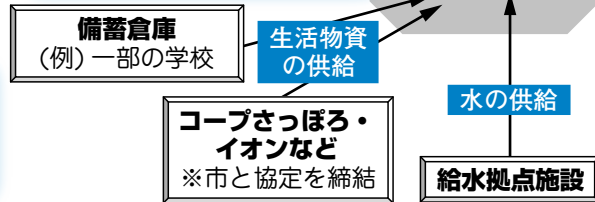
災害の規模が大きいと、区役所や消防署をはじめとする関係機関は直ちにすべての対応を行うことは困難です。このようなときは、地域で助け合わなければなりません。

避難場所をチェックしよう!

区役所で配布する一覧または危機管理対策室ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kikikanri/>) で。

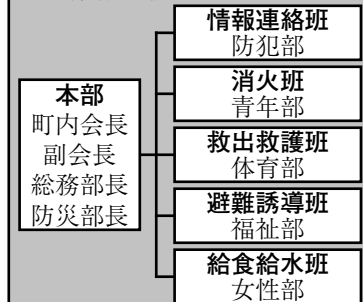
市の備蓄状況は?

食料⇒区で約16,000食。
飲料水⇒市全体で、一人一日3リットルとして約76万人の3日分。



自主防災組織

町内会・自治会単位で災害時の役割分担をしておきましょう。
＜組織編成例＞



(注1) 上図は概略を示したものです。
(注2) 区役所や消防署で「家庭防災のしおり」を配布しています。

大切な「命」と「財産」を守る 住宅用火災警報器を設置しましょう

間もなくです

義務化の時期	既存住宅	平成20年6月1日～
	新築住宅	平成18年6月1日～
対象物	一戸建て住宅、共同住宅など	
設置場所	寝室、台所、階段など	
詳細	豊平消防署 ☎852-2100	
	消防局ホームページ http://www.city.sapporo.jp/shobo/	

※町内会などの地域単位で共同購入することにより、比較的安価に購入することができます。月寒地区では、悪徳業者による被害を避けるためにも、町内会連合会が機器を仕入れ、各町内会にあっせんしました。

最終的には防災マップを作製し各戸に配布して、防災意識を高めます。

- ◆世帯構成、避難所の収容能力、資機材の保管状況などを調査
- ◆倒壊の危険性がある電柱などを地図上に記入して避難路を検討
- ◆被害や配給などの状況を把握する調査票を模範的に記載して整理
- ◆避難所で必要な炊事用具、仮設用品、発電機などの調達方法を検討

災害に備えて

月寒地区の南東部に位置する十五の町内会は、「月寒防災3の2地区収容避難所運営委員会」を組織しています。阪神・淡路大震災で避難所の運営が大変だったことを踏まえて、自主防災組織の編成を促進し、災害時の体制を整備するために活動しています。実際の災害を想定して避難所の運営を意識していることが特徴です。これまでの主な活動内容は、